

ライズスパイラル学習

“子どもが「創る」学びを学校と家庭が一体となって支える” かけがわ型学習スタイル

【家庭】 学びを“引き出す”ファシリテーター
子どもの「～たい」を認めて一緒に考える



【個別最適な学びを“引き出す”】
今、どんなことをしている（いた）の？
【協働的な学びを“引き出す”】
〇〇は、どう考えたの？

【自己調整を“引き出す”】
～ができるようになったじゃん！
すごいね！
・・・もできるんじゃない？

「解決したい」
「友達の意見を聞きたい」
「考えを比較したい」
「もっと～したい」
「もっと上手になりたい」

付いた力を実感し、
学びの自己調整を図る

「ここまでできた
次は～したい」
「これが分かった
さらに～を
理解したい」

新たな問いをもつ
新たな学びを進める

「もっとよい方法を
みつきたい」
「もっと友達の意見
を聞きたい」
「他はどうなって
いるのか知りたい」
「他にも挑戦したい」

「知りたい」
「調べたい」
「分かりたい」
「できるように
なりたい」

問いの解決のために個別最適な学び
と協働的な学びを結び付けて進める

【自己調整を“つなげる”】
今日は～したけど、～は
できるようになったかな？
授業前と比べて、～について
の考えはどう変わった？
もう少し・・・してみたら？



問いをもつ
必要な学びを進める

【個別最適な学びを“つなげる”】
どうしたの？どこで困っているの？
【協働的な学びを“つなげる”】
〇〇さんは、～と考えていたけど、
みんなはどう？

【教師】 学びを“つなげる”ファシリテーター
子どもの「～たい」をつなげ、ふくらめる

家庭学習

授業

家庭学習

授業

家庭学習

授業

家庭学習



効果的にICTを活用し、授業と家庭学習が切れ目なくつながる学びのデザイン

地域の資源を活用して広げる「ほんもの」に触れる学びの場